

校長室から

校長 芳賀 雄太

7月26日(水)から30日(日)までの5日間、三年生11名と私を含む教員3名が、本校の教育活動の目玉である海外農業研修で台湾を訪問しました。この研修の内容や参加した生徒の皆さんの感想は、この後発刊される報告書を一読頂きたいと思えます。

この研修が遠別町からの多大なご支援を受け実施され、遠別農業高校の教育活動の大きな目玉であることは皆さんもご承知の通りです。高校生が海外に出向き、訪れた国の産業や文化、歴史を学び、同時に現地の人々と交流を深めることができるのは、貴重な体験であると言えます。また、この経験が今後の皆さんの生活、あるいは人生に何らかの形で影響を与える出来事になることも容易に想像できます。

特に、現在の高校生がコロナ禍で多くの制約を受けて生活してきた現状を踏まえれば、学校の外に出た活動、さらに日本を出て海外に行くという数少ない機会を得られたことは、今回の海外研修への参加が「チャンスに恵まれた」と感じた方が良いでしょう。

今、世界では「多様性」という言葉が頻繁に使われています。そこには、自分や自分たちだけの価値観や考え方でなく、相手の理解や尊重、敬意といった意味が含まれていると思います。これからの社会を生き、より良くしていくためにも生徒の皆さん一人ひとりがこのような機会を通じて、自身と他者との関係を築き、小さな日本に留まらず、国境を超えて相互の必要性と信頼を認識しあえる経験を積んでもらいたいと切に願います。

8月のトピックス

農業視察研修 7月26日(水)～7月30日(日)

農業視察研修の内容を紹介します。1日目は遠別町から台湾まで移動のみでしたが、機内で台湾の方とお話をしたり、空港の外に出て蒸し暑さを体感したり、車窓から日本のお店を見つけて盛り上がりたりと、生徒たちは初めての海外を肌で感じる事ができました。

2日目は台北市内の研修となりました。行天宮、忠烈祠、故宮博物院、龍山寺、トワイライト九份の順番で研修を行いました。生徒たちは異文化に触れることでよい刺激になりました。

3日目は農場視察を行いました。最初に訪れたのはドラゴンフルーツ農園です。オーナーさんから農園について説明がありました。この農園は有機栽培をしており、農薬を使わない代わりに害虫対策で鶏、鴨、あひらが農園に放たれていること、ドラゴンフルーツはサボテンの仲間なので育てやすいことがわかり、生徒たちの新たな学びになりました。その後ドラゴンフルーツの果実の色の見分け方や花の試食、収穫体験を行いました。実の根本は固く、切るのに苦戦しましたが、全員真っ赤な実を収穫することができました。収穫後は試食もさせてもらいました。次に訪れたのは長葱農園です。ここでは葱の収穫と葱洗い体験をしました。ここの長葱は日本のものより細く、作付けは水田と葱を1年毎に輪作していたり、畝を高くしているなどの違いもあり、ここでも新たな発見がありました。午後はB&Sプログラムを行いました。台湾の日本語を勉強している大学生が、グループごとに台北市内を案内してくれるものです。最初は緊張した様子で出発しましたが、いろいろ見て回ったり、夕食を共にして仲を深め、帰ってくる頃には楽しそうに和気あいあいと帰ってくる様子が見られました。

4日目は自主研修でした。各班で事前に考えた計画で研修しました。3年生青山さんコメントを紹介します。

1箇所目は台北霞海城隍廟へ行きました。台北霞海城隍廟では、4体の神さまがいました。健康や縁結びなどのお祈りができるスポットでした。私たちは、線香を使用してお祈りをしました。2箇所目は台北101へ行きました。台北101では展望台が人気ですが、私たちは登らず様々なブランド店や出店を見て回りました。3箇所目は西門町にある、様々な商店街を見て回りました。西門町は日本で言う原宿みたいな場所で、とても人が多く賑やかな印象でした。ですが、日本と違うところは外でのイベントが常に行われていることです。今日はダンスをしている人たちがいて驚きました。

以上、青山さんのコメントでした。

5日目の最終日は無事に飛行機で日本に到着しました。この研修を支援してくださった遠別町民の皆様、旅行会社の方、現地のガイドさんをはじめ関係者の方々に感謝します。



8・9月の行事予定

8/24～金(木～金) 全道実績発表大会
9/31(木) 全道意見発表大会(当番校)

9/11～14日(月～木) 前期末考査
9/15(金) 2学年 大学見学

Facebookで情報発信中!



インターンシップ報告会 7月24日(月)

2年生の生徒は、6月20日～23日の4日間、札幌、留萌、羽幌、初山別、遠別、天塩、幌延、稚内、猿払、枝幸で各々のインターンシップを行いました。彼らにとってこのインターンシップは、学校がお膳立てしたテンプレートをなぞるような体験・見学ではなく、またインターンシップ受入可能企業リストを参照することもなく、いわゆるまっさらな状態から、自分をインターンとして受け入れてほしい会社に自ら電話をかけ、一度も話したことのない大人相手に苦労しながら交渉し、その結果やっと手に入れた働くことを知る貴重な機会です。

ただし受け入れを断られた生徒も多い。なかには、交渉の段階で地元ของบริษัท3件に断られた生徒もいた。実は彼らの多くはインターンシップの前から、すでに社会の厳しさを身をもって経験しました。

4日間住み込みで農作業に従事し、真っ黒に日焼けした者。会社まで片道1,4キロ、毎日徒歩で往復し、その後黙々と畑作業を行い、会社の方にその勤勉な姿勢を評価された者。タコの荷揚げ作業をしているうちに、漁師である父から教わった、一つひとつの仕事をきれいに仕上げることの大切さを、体感でかみしめることができた者。羊の搾乳や餌やりをして、自ら掲げる目標があるからこそ、日々の達成感や充実感を得ることができるといふことに気づいた者。彼らは人として大切なことを教わりました。

こちらが本気ならば、相手もその本気に答えてくれるということ。

それは啐啄(そったく)という言葉の意味(「啐」は卵の中の雛が孵化しようとするとき殻を内側からつつくこと、「啄」は母鶏がそれに応じて外側から殻をつつくこと)に似ています。

自ら苦労して、そして人から支えられて手に入れたものは、生涯の宝物となるでしょう。

彼らを導いてくださった皆様の、無償の愛に感謝します。生徒たちはこの貴重な経験についてパワーポイントでまとめて発表しました。



全道技術競技大会 8月8日(火)

農業クラブ全道技術競技大会に参加しました。

8月8日(火) 帯広農業高等学校で開催された農業クラブ全道技術競技大会に参加しました。農業技術競技大会とは、農業に関する専門科目の学習で学んだ知識・技術の定着度合いを競い合う競技種目です。参加生徒16名は日頃の勉強の成果を出せるよう競技に臨みました。結果は以下の通りとなりました。

北北海道連盟 家畜審査競技【乳牛の部】

最優秀賞 高橋 楨

優秀賞 田頭 愛美

フラワーアレンジメント競技

入賞 水野 玲奈

以上の結果となりました。

みごと入賞おめでとうございます。また、今回結果が出なかった生徒たちもこの経験を次回に生かしてくれることでしょう。

参加した生徒のコメントを紹介します。1年藤田さんは、「今回初めて大会に参加して、実際に問題と向き合っ、まだまだ知識不足だということを思い知らされました。来年からも努力を続けていきたいと思います。」と話していました。

以上、生徒たちはよく頑張りました。お疲れ様でした。



高体連陸上名寄支部新人大会 8月19～20日(土～日)

8月19日～20日、土別市で行われました高体連陸上名寄支部新人大会に、4名の選手が出場しました。5月の支部大会での味わった悔しさや学んだことを糧に練習を重ね、新しいユニフォームを着て、挑みました。結果は次の通りです。

☆ = 全道新人大会出場権獲得

男子200m決勝

☆3位 2年 盛合 洸希 27秒71 +1.8

男子400m決勝

6位 2年 盛合 洸希 1分07秒82

男子砲丸投決勝

5位 2年 大安 龍飛 7m61

☆2位 1年 泊村 陸 8m29

男子円盤投決勝

☆3位 2年 大安 龍飛 21m90

☆2位 1年 泊村 陸 22m34

男子ハンマー投決勝

☆1位 2年 木戸 結心 15m50

男子やり投決勝

☆3位 2年 木戸 結心 27m05

以上の結果から、出場した全選手が5種目で全道新人大会の出場権を獲得し、9月20日から旭川市で行われる全道新人大会に出場します。初出場の選手や自己ベスト更新できた選手と様々でしたが、顧問含め、全員がチーム遠征として一致団結して健闘した結果です。この結果に奢らず、全道の舞台で更なる活躍ができるよう精進して参ります。今後も陸上競技部の応援をよろしくお願いいたします。

